

市政のそば聞きたか!!

一般質問

3月定例会で14人が古川市政を



掲載している内容は、3月4月から3月9日に行われた市政一般質問の要旨です。詳しい内容については議会録をご覧ください。

議会録は、議会事務局、情報公開室のほか市内各公民館や図書館でもご覧いただけます。

市議会ホームページでは、議会録の閲覧や検索、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

島原市議会ホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>

▼農業施策について



庶民の会
種村 繁徳
議員

Q ①担い手、②新規就農者へはどのような支援があるのか。

A ①農地の圃場整備を進めるとともに、農作業の省力化や経営規模の拡大、生産コストの削減を図るため、近代的な農業用施設や農業用機械の導入を推進している。二十六年からは、担い手への農地集積と集約を図るため、農地中間管理事業に取り組んでいる。②四十五才未満の独立・自営就農した農業経営者に対して、年間百五十万円を最長五年間交付する国の青年就農者給付金制度があり、二十六年度は十二名が受給している。また、新たに農業後継者として農業に従事する者に対して、就農から一年間経過した者に五万円、三年経過した者に十万円を支給する農業後継者就農奨励金制度があり、二十六年度は一年経過者が十三名、三年経過者が十四名の交付状況である。

Q 畜産クラスター構築事業はどのような事業なのか。

A 地域特有の実態を踏まえた新たな取り組みを推進し、地域の中心的な畜産経営体を育成することを目的とし

て、高収益型畜産体制（クラスター）構築事業が創設された。畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な畜産経営に対し、収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な自走式給餌機等の機械リースや畜舎、堆肥舎等の施設整備に対する支援事業である。

▼島原薬園跡について

Q 現在の取り組み状況はどうか。

A 史跡としての維持管理に努めるとともに、来園者の利便性の向上のために、駐車場の整備、トイレの改修などを実施してきた。また園内において、薬草の植栽や薬木の剪定を薬草に詳しい方の協力をいただいで行うとともに、薬草講座の実施や薬草フェアのメイン会場として活用するなど、史跡や薬草の周知を行っている。

Q 今後どのような取り組みを行うのか。

A 今年十一月に、全国的な薬草シンポジウムが島原市で開催予定となっているため、遺構の改修や薬草に詳しい方々の協力を得て、植栽の充実に努めながら、今後も国指定史跡として周知を図りたい。

【その他の質問項目】

◇子どものいじめの防止等に関する条例について

◇島原鉄道について